

施策目標1 子どもの権利を尊重します

基本事業 [1] 子どもの権利の尊重

取組の方向性 ① 子どもの権利についての広報・啓発の充実

取組項目 1 子どもの権利の広報・啓発							
子どもの最善の利益を考慮し、子どもの権利を尊重するまちづくりを実現するため、リーフレットの作成や講座の開催など、広報・啓発活動を推進します。							
事務事業 夢育て・たちかわ子ども21プランの推進(事業実施関連)						担当課 子育て推進課	
H29年度の活動	推進会議等との協働により「こどもとおとなのはなしあいin市議会議場」を開催し、子どもの権利について周知を進めた。「はなしあい」では、身近な課題等について子ども自身が企画・提案を発表し、大人と話し合うことによって協力者を得られ、今後、子どもたち自身が企画の実現に向けて取り組んでいく。行政や地域課題の解決に子どもの意見を生かす仕組みづくりに向け、前進することができた。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	子どもの権利啓発事業実施回数	回	3	3	6	4	
今後の方向性	プランの基本的な視点である「子どもの権利の尊重」について広く一般に周知を進め、市民等との協働により、子どもの意見を行政や地域課題の解決に生かす仕組みづくりを模索する。「こどもとおとなのはなしあい」を推進会議の事業として位置付け、子どもの委員の立場でプラン推進に関わってきた人材等の中から、新たな担い手を見出す。						
取組項目 39 (再掲)学校における人権教育の実施							
人権教育研究校などを設置し、子どもの権利を踏まえた、学校における人権教育の取組を進めます。							
事務事業 人権教育の推進						担当課 指導課	
H29年度の活動	「全国中学生人権作文コンテスト」や「人権の花」運動に参加することで、児童・生徒の人権意識の醸成を図った。また、全市立小・中学校が道徳地区公開講座を開催し、地域に開かれた人権教育を実施した。さらに、人権に関する教員研修を開催した。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	道徳授業地区公開講座等参加者数	人	8,346	7,950	9,249	8,604	
今後の方向性	児童・生徒が社会生活を営むうえで、人権感覚や他者を思いやる気持ちを身につけることは不可欠である。これからも様々な形で人権教育の推進に取り組んでいく。						

施策目標1 子どもの権利を尊重します

基本事業 [1] 子どもの権利の尊重

取組の方向性 ② 子ども自身からの相談に対応できる体制の整備

取組項目 48 (再掲)学校における相談体制の確保																						
<p>ハートフルフレンドやスクールカウンセラー制度を活用し、学校において、子どもたちが相談しやすい環境を確保します。</p>																						
事務事業	教育事業事務(教育支援事業) <span style="float:right">担当課 指導課</span>																					
H29年度の活動	心理学や教育学を専攻している大学院生等を臨時職員として任用し、児童・生徒の遊び相手、相談相手として活動した。また、東京都スクールカウンセラーを派遣し、様々な悩み事の相談に応じることで、子どもたちや保護者、教員等の相談しやすい環境を整備した。なお、ハートフルフレンドについては、各学校現場に合わせて効果的に活用できるようにするため、他の3つの支援員と統合し新設した学校支援員として支援等の活動を行った。																					
活動指標または成果指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>H26実績</th> <th>H27実績</th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハートフルフレンド配置校数 (H29実績からは学校支援員の配置校数を記載)</td> <td>校</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スクールカウンセラー配置校数</td> <td>校</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>29</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30	ハートフルフレンド配置校数 (H29実績からは学校支援員の配置校数を記載)	校	29	29	29	29		スクールカウンセラー配置校数	校	29	29	29	29	
	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30																
ハートフルフレンド配置校数 (H29実績からは学校支援員の配置校数を記載)	校	29	29	29	29																	
スクールカウンセラー配置校数	校	29	29	29	29																	
今後の方向性	引き続き、学校支援員及び東京都のスクールカウンセラーを積極的に活用することで、様々な悩みごとの解消を図る。																					
事務事業	ハートフルフレンド <span style="float:right">担当課 指導課</span>																					
H29年度の活動	心理学や教育学を専攻している大学院生等を臨時職員として任用し、遊びや相談の相手として児童・生徒の抱える課題をすくいあげ、不登校の未然防止や学校生活上の課題の解決を図った。なお、ハートフルフレンドについては、各学校現場に合わせて効果的に活用できるようにするため、他の3つの支援員と統合し新設した学校支援員として支援等の活動を行った。																					
活動指標または成果指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>H26実績</th> <th>H27実績</th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハートフルフレンド勤務日数 (H29実績からは学校支援員全体の勤務日数を記載)</td> <td>日</td> <td>967</td> <td>872</td> <td>902</td> <td>6,367</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハートフルフレンド勤務時間数 (H29実績からは学校支援員全体の勤務時間数を記載)</td> <td>時間</td> <td>5,108</td> <td>4,611</td> <td>4,687</td> <td>30,243</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30	ハートフルフレンド勤務日数 (H29実績からは学校支援員全体の勤務日数を記載)	日	967	872	902	6,367		ハートフルフレンド勤務時間数 (H29実績からは学校支援員全体の勤務時間数を記載)	時間	5,108	4,611	4,687	30,243	
	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30																
ハートフルフレンド勤務日数 (H29実績からは学校支援員全体の勤務日数を記載)	日	967	872	902	6,367																	
ハートフルフレンド勤務時間数 (H29実績からは学校支援員全体の勤務時間数を記載)	時間	5,108	4,611	4,687	30,243																	
今後の方向性	学校現場の多様な教育課題の改善状況を把握し、学校支援員による支援等を行っていく。また、不登校対策としては、指導課内に設置した不登校対策チームにより、学校への復帰や適応指導教室への入級等、児童・生徒の教育機会の確保に積極的に取り組む。																					
取組項目 49 (再掲)子ども自身も利用しやすい教育相談の実現																						
<p>教育相談を充実し、子ども自身からの相談にも応じやすくします。</p>																						
事務事業	教育相談 <span style="float:right">担当課 教育支援課</span>																					
H29年度の活動	不登校や発達障害など、保護者の不安や心配ごと、子ども自身の悩みは複雑化・多様化している。子ども未来センターの開設から丸5年が経過し、移転前と比較して、相談件数が倍増している。一方、施設面のキャパシティが限界にあること、来所担当の相談員は当時から実質3名減(8→5)となっていること等から、来談間隔の遅延や終結のしにくさが顕著になっている。適応指導教室との連携や役割分担にも課題が残った。																					
活動指標または成果指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>H26実績</th> <th>H27実績</th> <th>H28実績</th> <th>H29実績</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来所相談・電話相談件数</td> <td>件</td> <td>602</td> <td>714</td> <td>796</td> <td>860</td> <td>880</td> </tr> <tr> <td>来所相談延活動回数</td> <td>回</td> <td>2,765</td> <td>3,069</td> <td>3,165</td> <td>3,827</td> <td>3,800</td> </tr> </tbody> </table>		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30	来所相談・電話相談件数	件	602	714	796	860	880	来所相談延活動回数	回	2,765	3,069	3,165	3,827	3,800
	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30																
来所相談・電話相談件数	件	602	714	796	860	880																
来所相談延活動回数	回	2,765	3,069	3,165	3,827	3,800																
今後の方向性	子どもを取り巻く問題や環境は複雑化・多様化・深刻化しており、持続的で効果的な支援のためには複数機関の連携が不可欠である。5年前より子ども家庭支援センターと同じ場所で執務しているが、指示命令系統は別組織であり、情報を一元化するシステムも無いため、相談員一人ひとりの意識喚起に頼るだけでは「途切れ・すき間のない相談支援体制」の強化は非常に難しい現実が、浮き彫りになりつつある。子ども未来センターの位置づけや将来の方向性を、全庁的に整理し直す時期を迎えている。																					

取組項目 2 子どもの人権SOSミニレターの配布							
「子どもの人権SOSミニレター」を子どもたちに配布することにより、人権擁護委員を知らせ、子ども自身の相談につなげます。							
事務事業 人権擁護委員事務局						担当課 生活安全課	
H29年度の活動	「子どもの人権SOSミニレター」を小・中学校を通して配布した。また「子どもからの人権メッセージ発表会」や「中学生人権作文コンテスト」、「人権の花」運動への参加依頼や市内学童保育所での「人権教室」を通して、人権擁護委員の役割を知らせた。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	子どもの人権啓発活動項目数	件	5	5	5	5	
今後の方向性	社会状況の変化に伴い、いじめや虐待、インターネットでの人権侵害など深刻な人権問題が起きていることから、今後はさらに子どもへの人権啓発活動を充実させる。						
取組項目 3 子ども向けの消費生活相談の実現							
消費生活相談を拡充して、子ども自身からの相談にも応じやすくします。							
事務事業 消費生活講座事業						担当課 生活安全課	
H28年度の活動	両親からの相談の他、未成年者が契約者である場合も本人から話を伺う等、消費者被害の防止・解決に努めた。また、消費者団体との連携により、夏休み親子料理教室の開催や、「くらしフェスタたちかわ」のポスター作成を市内小学校へ依頼する等の消費者問題への意識啓発を行った。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	講座実施回数	回	31	29	32	33	
	相談者数(未成年)	人	38	43	21	29	
今後の方向性	「消費者教育推進法」による消費者教育の拠点としての消費生活センターと消費者教育の担い手である消費者団体との連携をより深め、自ら考え行動する消費者の育成に貢献していく。						
取組項目 4 チャイルドラインなどの支援							
チャイルドラインなど、子どもたちの声を受け止め、一緒に考える市民団体の取組を支援します。							
事務事業 夢育で・たちかわ子ども21プランの推進(事業実施関連)						担当課 子育て推進課	
H29年度の活動	立川市キッズページ「なやんだとき・こまったとき相談できるところ」のページに掲載したり、チャイルドラインカードの配布、ポスター掲示などの周知を行った。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	チャイルドラインたちかわ受電数	回	1,142	1,065	995	1,144	
今後の方向性	チャイルドライン等の活動が子どもたちに伝わるよう、市の子ども対象講座などを通じての周知活動を支援する。						

取組項目 5 子どもからの権利保護・救済に関する相談窓口の設置							
子どもの権利保護・救済に関する相談窓口を設け、子ども自身からの相談にも応じやすくするとともに、関係機関が連携して、子どもに配慮した救済手段の提供に努めます。							
事務事業 子ども家庭総合相談事業					担当課 子ども家庭支援センター		
H29年度の活動	要支援家庭や特定妊婦をはじめ、子育て家庭等の様々な相談や支援。子どもショートステイその他子ども家庭サービスの提供や調整。所在不明児の安否確認。児童虐待通告への対応。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	延べ活動回数	回	9,473	9,125	9,651	8,642	
今後の方向性	今後ますます、様々な課題を抱える家庭の相談や虐待等も増えていくことが予想されるため、児童相談全般の対応力の強化・人材育成と持続可能で安定した運営体制の整備について引き続き検討を進める。母子保健との連携を強化し、養育支援訪問事業を充実、増大する相談への対応のために体制の充実を図る。						

施策目標1 子どもの権利を尊重します

基本事業 [1] 子どもの権利の尊重

取組の方向性 ③ 児童虐待等の人権侵害の予防と早期対応

取組項目 6 子ども支援ネットワークによる虐待防止・早期発見							
<p>子ども支援ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)を活用し、幼稚園や保育園、児童館、学童保育所、小・中学校、医療機関などの関係機関のほか、民生委員・児童委員や保護司など、地域において活動している方々と連携して情報の共有に努めます。また、家庭訪問などの見守りを通して、児童虐待の防止や早期発見・早期対応などに取り組みます。</p>							
事務事業 子ども家庭総合相談事業					担当課 子ども家庭支援センター		
H29年度の活動	<p>代表者会議(1回)、全体会(1回)、実務者会議(6回)、ケース会議(随時)、ブロック会議(隔月)。実務者会議では、虐待ケース進行管理点検チームによる進捗管理と発達障害児の親支援検討ケースチームにおいてテーマに応じた検討を行った。</p>						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	延べ活動回数	回	9,473	9,125	9,651	8,642	
今後の方向性	<p>支援を要する児童・保護者や困難ケースが増加傾向にあり、背景にある課題の理解と共有を深め、早期発見・早期支援へのつなぎ方や連携する際のツールの活用方法を実践のなかで検討し、機動的で実動する支援システムを構築していく。また、リスクアセスメントシートについて、子育てひろばでの運用を踏まえ学童保育所での運用を進めるほか、すき間なく支援につなぐ環境を整備する。</p>						
取組項目 7 オレンジリボンダイヤルの周知							
<p>児童虐待に関する相談や通告を受け付けるオレンジリボンダイヤルを周知し、寄せられた情報をもとに、迅速に子どもの安全を確保します。また、児童虐待防止マニュアル等を市民に周知し、その活用を呼びかけます。</p>							
事務事業 子ども家庭総合相談事業					担当課 子ども家庭支援センター		
H29年度の活動	<p>平成27年7月から児童相談所全国共通ダイヤルが3桁化(189)され、最寄の児童相談所への通告がしやすくなった。オレンジリボンダイヤルと合わせて民生委員・児童委員に周知した。虐待防止推進月間には市報のほか、青色パトロール車での啓発メッセージのPR、児童相談所と駅頭での啓発活動を行った。</p>						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	子ども支援ネットワーク関係会議開催数	回	117	127	108	122	
今後の方向性	<p>様々な形態の家庭が増えたことで、多様な課題を抱える家庭など対応が困難なケースも増えているが、他機関との連携強化により、途切れすき間のない支援が行われるように、意識醸成と環境整備に努める。また、引き続き市民への周知を図るとともに、子ども支援ネットワークでの虐待対応力強化研修等により関係機関での虐待の未然防止や早期発見できる体制づくりを進める。</p>						

取組項目 47 (再掲)いじめの防止と早期発見・早期対応							
いじめ防止条例に基づき、子ども、保護者、市民及び事業者等に対し、いじめの防止等に関する広報及び啓発に取り組みます。また、いじめの早期発見・早期対応のために、実態の把握に努めるとともに、連絡・相談体制を整備します。							
事務事業 教育事業事務(教育支援事業)						担当課 指導課	
H29年度の活動	立川市子どものいじめ防止条例に基づき、いじめ防止対策審議会を年3回開催し、いじめ防止等に関する施策、取組等の検証を行った。また、市内小・中学校においていじめ防止に関する授業を実施した。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	「いじめ防止対策審議会」実施回数	回	2	3	3	3	
	授業実施校数	校	-	29	29	29	
今後の方向性	今後も「いじめ防止対策審議会」を実施し、いじめ防止等に関する施策、取組等の検証を行い、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努める。また、全市立小・中学校が弁護士等による「いじめ防止に関する授業」を実施する。						
事務事業 ハートフルフレンド						担当課 指導課	
H29年度の活動	心理学や教育学を専攻している大学院生等を臨時職員として任用し、遊びや相談の相手として児童・生徒の抱える課題をすくいあげ、不登校の未然防止や学校生活上の課題の解決を図った。なお、ハートフルフレンドについては、各学校現場に合わせて効果的に活用できるようにするため、他の3つの支援員と統合し新設した学校支援員として支援等の活動を行った。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	ハートフルフレンド勤務日数 (H29実績からは学校支援員全体の勤務日数を記載)	日	967	872	902	6,367	
	ハートフルフレンド勤務時間数 (H29実績からは学校支援員全体の勤務時間数を記載)	時間	5,108	4,611	4,687	30,243	
今後の方向性	学校現場の多様な教育課題の改善状況を把握し、学校支援員による支援等を行っていく。また、不登校対策としては、指導課内に設置した不登校対策チームにより、学校への復帰や適応指導教室への入級等、児童・生徒の教育機会の確保に積極的に取り組む。						
事務事業 教育相談						担当課 教育支援課	
H29年度の活動	不登校や発達障害など、保護者の不安や心配ごと、子ども自身の悩みは複雑化・多様化している。子ども未来センターの開設から丸5年が経過し、移転前と比較して、相談件数が倍増している。一方、施設面のキャパシティが限界にあること、来所担当の相談員は当時から実質3名減(8→5)となっていること等から、来談間隔の遅延や終結のしにくさが顕著になっている。適応指導教室との連携や役割分担にも課題が残った。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	来所相談・電話相談件数	件	602	714	796	860	880
	いじめを主訴とする相談	件	7	6	4	2	-
今後の方向性	子どもを取り巻く問題や環境は複雑化・多様化・深刻化しており、持続的で効果的な支援のためには複数機関の連携が不可欠である。5年前より子ども家庭支援センターと同じ場所で執務しているが、指示命令系統は別組織であり、情報を一元化するシステムも無いため、相談員一人ひとりの意識喚起に頼るだけでは「途切れ・すき間のない相談支援体制」の強化は非常に難しい現実が、浮き彫りになりつつある。子ども未来センターの位置づけや将来の方向性を、全庁的に整理し直す時期を迎えている。						

施策目標1 子どもの権利を尊重します

基本事業 [1] 子どもの権利の尊重

取組の方向性 ④ 子どもの意見表明と参加の機会の創出

取組項目 8 子ども委員会の設置							
子ども委員会を組織し、自分の意見や思いを、おとなや同世代に発信する機会をつくります。							
事務事業 子ども委員会運営					担当課 子ども育成課		
H29年度の活動	公募による14名の子ども委員が、今年度のテーマ「MOTTAINAI」、「高齢者」の2部会に分かれ、各6回の子ども委員会会議を開催した。また意見表明の場として、平成30年2月3日開催の立川市青少年健全育成研究大会のなかで、子ども委員会の活動及びまとめた意見を発表した。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	子ども委員会延べ出席者数	人	67	53	62	75	70
	委員会開催数(意見表明の場を含む)	回	7	7	7	7	7
今後の方向性	「子育て・たちかわ子ども21プラン」に設置が明記されていることもあり、今後も子ども自身の意見発表の場を確保しつつ、民間のノウハウを有効に活用しながら、事業を継続実施していく。						
取組項目 9 中学生の主張大会の開催							
市内の中学生が、日常生活の中において考えていることや経験したことを広く社会に訴えることにより、子どもたちの自立心や社会性を育むとともに、中学生の意識に対するおとなの理解と関心を高めることをねらいとして、「中学生の主張大会」を開催します。							
事務事業 青少年健全育成事業					担当課 子ども育成課		
H29年度の活動	市内12地区にある青少年健全育成地区委員会が、各中学校より応募原稿を回収し、各地区10編(全体で120編)を選考した。選ばれた120編を個人審査員に読んでいただいた上で慎重に審査し、当日発表作品15編及び優秀賞作品20編を決定した。大会当日は発表者15人の発表を聞き、団体審査員等の審査結果を十分考慮し、各賞を決定した。また、「立川市中学生の主張大会」で表彰された中学1年生及び2年生の作品を次年度の「中学生の主張東京都大会」兼「少年の主張全国大会東京都予選」に推薦する取り組みを26年度から始めたところ、29年度も好成績を修め(市内7校計13名の生徒が表彰され、うち1名が発表)、中学生の貴重な経験、成長につながっている。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	中学生の主張大会応募率	%	90.2	89.9	89.9	89.3	83.6
	中学生の主張大会来場者数	人	480	478	482	450	450
今後の方向性	来場者からは毎年のように「中学生の視点で社会や世界をよく見ており、自分の思いや意見を堂々と発表する姿に感動した」等、好意的な意見が多数寄せられている。今年で38回を数える大会に成長しており、大人はもちろんのこと、同世代の子どもたちにも来場してもらえるようにPRしていく。						
取組項目 10 子どもが市政等に関する意見を表明する機会の検討							
子どもが市政等について意見を表明する場として、中学生・高校生向けのタウンミーティングや子ども議会などの開催を検討します。また、市ホームページ等により、市政等について、子どもにもわかりやすく伝わるように努めます。							
事務事業 タウンミーティング開催事務					担当課 企画政策課		
H29年度の活動	高校生や大学生といった若者世代を対象とした回も引き続き開催したが、10代～30代の参加が合計で62名(アンケート回答者のみ)となり、昨年度よりも減少した。地域別のタウンミーティングでも、10名前後といった参加者が少ない回の開催があり、これまで参加してこなかった新たな参加者を集める工夫が必要である。参加者の満足度は「参加して良かった」が全体で93%となり、引き続き高い水準を維持している。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	10代～30代の参加者数	人	12	63	79	62	
今後の方向性	地域の行政課題等の把握は引き続き行いながら、たちかわ創生総合戦略のターゲットである若者世代との回を開催することにより、幅広い市民が参加するタウンミーティングを実施していく。平成30年度は、第4次長期総合計画後期基本計画策定に向け、地域や各分野の課題等について多様な意見を募る。						

第3次夢育で・たちかわ子ども21プランH29年度推進状況

事務事業 ホームページ運営事業		担当課 広報課					
H29年度の活動	ホームページ職員操作研修を実施して職員のシステム操作の習熟に努めるとともに、各コンテンツの内容がより伝わりやすいものになるよう、「市民に伝わる文章作成研修」を実施した。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	ホームページ画面数(3月末)	件	5,643	6,029	6,531	6,482	
	ホームページ訪問者数(3月末)	件	1,261,267	1,596,898	2,058,320	#####	
今後の方向性	ホームページの適切・安定した運用を図るとともにコンテンツの継続的な改善に努める。また、平成31年6月のリニューアルに向けて、ホームページの改修作業を進める。						
事務事業 子ども委員会運営		担当課 子ども育成課					
H29年度の活動	公募による14名の子ども委員が、今年度のテーマ「MOTTAINAI」、「高齢者」の2部会に分かれ、各6回の子ども委員会会議を開催した。また意見表明の場として、平成30年2月3日開催の立川市青少年健全育成研究大会のなかで、子ども委員会の活動及びまとめた意見を発表した。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	子ども委員会延べ出席者数	人	67	53	62	75	70
	委員会開催数(意見表明の場を含む)	回	7	7	7	7	7
今後の方向性	「夢育で・たちかわ子ども21プラン」に設置が明記されていることもあり、今後も子ども自身の意見表明の場を確保しつつ、民間のノウハウを有効に活用しながら、事業を継続実施していく。						
<b>取組項目 11 計画や施設運営に関する子どもの意見の反映</b>							
子どもに関する施策や環境問題、自転車対策、公園整備など、世代間で合意形成が必要な分野においては、子どもの意見が反映されるよう、検討組織等への子どもの参画を検討します。また、図書館や地域学習館、公園などの公共施設の運営等に関する検討においても、子どもの意見の反映に努めます。							
事務事業 自転車等対策(自転車等駐車対策協議会)		担当課 交通対策課					
H29年度の活動	特に実績なし						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	行事実施回数	回					
	延べ利用者数	人					
今後の方向性	計画改定時等の機会に子どもに向けたアンケート調査の実施等を検討してまいりたい。						
事務事業 環境啓発事業		担当課 環境対策課					
H29年度の活動	(該当なし)						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
今後の方向性	環境基本計画の中間年度の見直し時に、子どもへのアンケート調査やワークショップなど、子どもの意見が反映されるような仕組み作りを検討していく。						

第3次夢育で・たちかわ子ども21プランH29年度推進状況

事務事業 公園整備事業		担当課 公園緑地課					
H29年度の活動	平成26年度に、公園設計委託のワークショップ作業の中で、立川市立第七小学校の子どもと意見交換を行った立川公園整備が完了した。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	子どものための意見交換会 (ワークショップ含む)	回	1	0	0	0	0
今後の方向性	公園を整備する際は、関係官公署や地域自治会だけでなく子ども達との意見を聞く機会を作るように努める。						
事務事業 地域学習館維持管理		担当課 生涯学習推進センター					
H29年度の活動	子どもの意見を反映し、夏休み期間に学習館6館の部屋等を学習スペースとして開放し、基本的には午前と午後、また各学習館の実情に応じた時間で学習のために提供をしている。平成29年度からは、年間を通じて空き部屋があった場合に学習ルームまたは学習室として提供をしている。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	夏休み学習館学習室利用件数	件	206	234	192	231	
	夏休み学習館学習室利用人数	人	1,139	914	993	1,313	
今後の方向性	今後も夏休み期間に学習スペースとして学習館の部屋等を開放し、「夏休みに学習する場所がほしい」という子どもの意見に応じていく。年間を通じて空き部屋があった場合に、学習ルームまたは学習室として提供をしていく。						
事務事業 図書館事業管理運営		担当課 図書館					
H29年度の活動	第3次子ども読書活動推進計画のもと、市内小学生・中学生を対象とした読書アンケートを実施した。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	アンケート回答人数	人	-	-	-	12,001	
今後の方向性	今後策定する第4次子ども読書活動推進計画にアンケート結果を反映したい。						

取組項目 12 公共の課題に子どもとおとなが一緒に取り組む機会の設定							
学校や地域と連携し、ごみの減量と分別・3R(1)、美化清掃、環境保全などについて、子どもとおとなが一緒に考え、行動する機会を設定します。							
事務事業 環境啓発事業						担当課 環境対策課	
H29年度の活動	環境に配慮した生活の普及促進を目的として、環境フェアを開催した。また、緑のカーテン推進事業として、子どもたちが苗作りを行い市民に配布し、できた種を回収するなど、継続性と循環を意識した取り組みを行った。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	種配布数(保育園、小中学校)	粒	6,762	5,706	5,160	6,230	
	苗作成数(保育園、小中学校)	株	1,744	1,540	1,222	1,592	
今後の方向性	環境フェアについて、「子ども達に体験を通じて環境に関する意識の向上を図ることを意識したイベント」というコンセプトに則った形で継続していく。緑のカーテン推進事業については、今後も小中学校や保育園などから地域に波及するように継続して取り組みを進めていく。						
事務事業 ごみ減量の推進						担当課 ごみ対策課	
H28年度の活動	学校や市民の団体からの要望に応じて、総合リサイクルセンターと清掃工場の施設見学や職場体験を実施した。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29	H30
	総合リサイクルセンターと清掃工場の施設見学者数	人	1,715	1,224	1,241	1,151	1,200
今後の方向性	市内小学校の社会科見学などの施設見学や職場体験を通じて、引き続きごみ減量と分別に向けた意識啓発を図る。						
取組項目 13 子どもの意見を反映した児童館の運営							
児童館の利用について、子どもたちの視点や意見を取り入れるとともに、子どもたちが達成感を味わい、チャレンジする気持ちを高めるため、子ども自身が行事を企画・運営する機会を提供します。							
事務事業 児童館民間運営事業						担当課 子ども育成課	
H29年度の活動	来館する子どもたちの中から参加希望者を募って運営する「子ども会議」を設け、子どもたち自らで児童館の新たなルールを決めたり、既存ルールの変更を話し合う機会を提供した。また、行事やイベントの企画運営に「子どもスタッフ」として携わる機会を提供した。						
活動指標または成果指標		単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30
	行事実施回数	回	1,471	1,759	1,915	1,965	1,950
	延べ利用者数	人	137,378	182,667	197,636	202,167	198,000
今後の方向性	子どもたち自らの意見が反映されることにより、子どもたちの達成感や自己肯定感の向上につながることから、各児童館の「子ども会議」や「子どもスタッフ」を継続支援していく。						